



<http://home.h01.itscom.net/tokaido/chizu.html>



日本橋
キリンの像

5月2日(日)午後3時
橋に着いた。東海道起点碑や「日本橋」の標識を撮り、暫くは周りをウロウロ。橋は短く想像していたより質素であった。2日目などと安堵感で一度にどつと疲れが出た。

空は今にも雨が降りそうな模様。ゆっくりも出来ず側の交番で東京駅を尋ね駅へと向う。ちょうど地下道へ入るところで土砂降りの雨が降ってきた。間一髪でびしょ濡れを免れる。京都三条大橋を出発した時も雨、日本橋到着した今も雨に遭つ。

私の東海道五十三次は雨に始まり雨で終わつた。しかし、よくも歩きに歩いたものだ。

- 静岡の茶畠のスケールのデカイ事。
- 雨の中、弁当を食べていたら声を掛けて頂き家中でお茶をよばれたこと。
- 小夜の中山峠で手提げ袋いっぱいのたけのこを持って帰るよう進められた事。

今思えば懐かしいことばかりです。今年に入って、1月末（寒い日でした）甲西～京都三条43km、2月に甲西～土山20kmを歩きました。これからも体が続く限り、人の会話を楽しみ、うおーく仲間と情報を交わし、色々なところへ歩いて行きたいと思っています。

最後に皆さんも家の周り半径10kmウォークから始めてはどうでしょうか。新しい発見、新しい“うおく仲間”が出来るかも…もちろん健康管理を第一に考えて、無理をせず始めてください。

皆様の益々のご健勝をお祈りします。

森本さんの“東海道五十三次うおーく”いかがでしたか。約8ヶ月掛けての挑戦！！

本当に素晴らしいですね!! 我と思わん方は是非挑戦してみてください。

皆さんの健康づくり体験記募集中です。お問い合わせは健康保険組合まで!!

連載 保健指導ノートから

今回は平成22年10月9日～翌年5月22日に約8ヶ月掛け、休日を利用し“東海道うおーく”（京都三条大橋～江戸日本橋）に挑戦された、明石機械工業（株）滋賀工場の森本憲二さん。その奮戦記をご紹介いたします。（以下は森本さんの原稿をそのまま掲載します）

「東海道五十三次、500kmを完歩しました」

きっかけは、滋賀工場の近くに街道があり身近に感じ一度歩いてみたいと思ったこと。

江戸時代に出来た主要街道。昔の人がどのような道を行き来していたのか非常に興味があり、私自身日々に近隣を散策したり、登山に行ったり体動かし歩くのが好きだからです。

滋賀へ来て6年、今まで伊吹山、霊仙山、比良山、蛇谷ヶ岳、近くは阿星山、飯道山、三上山、竜王山など。遠くは北アルプス、檜ヶ岳、木曾の御嶽山、恵那山など2,000~3,000m級の山も何回か登りました。

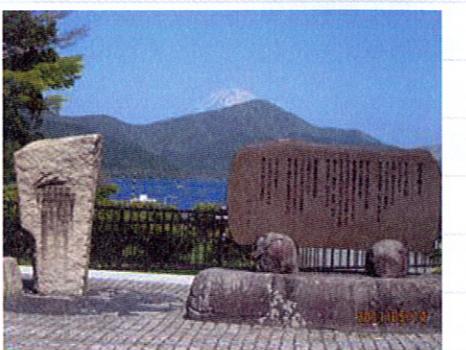
明石から滋賀に単身赴任で来た“うおーく友達、Nさん”と意気投合。次喜多珍道中のように、道中地元の人々と会話し名所旧跡を見て、のんびり楽ししながら歩こうと決めました。



森木

平成22年
10月10日(日)

平成22年
10月9日(土)



薩埵峠を登り切ったところで富士川が見える

滋賀はある会社の寮を6時半に出発し、甲西駅から京者馬へ
三条大橋を7時40分にスタート。あいにく天気が悪く、小雨状態だ
ったのが大津宿を過ぎると本降りに…。草津、石部宿へ着く頃には
更に雨は酷くなり、甲西についた時体は震え足指のマメは潰れ、最
悪の初日になってしましましたが何とか計画通り歩ききりました。

